

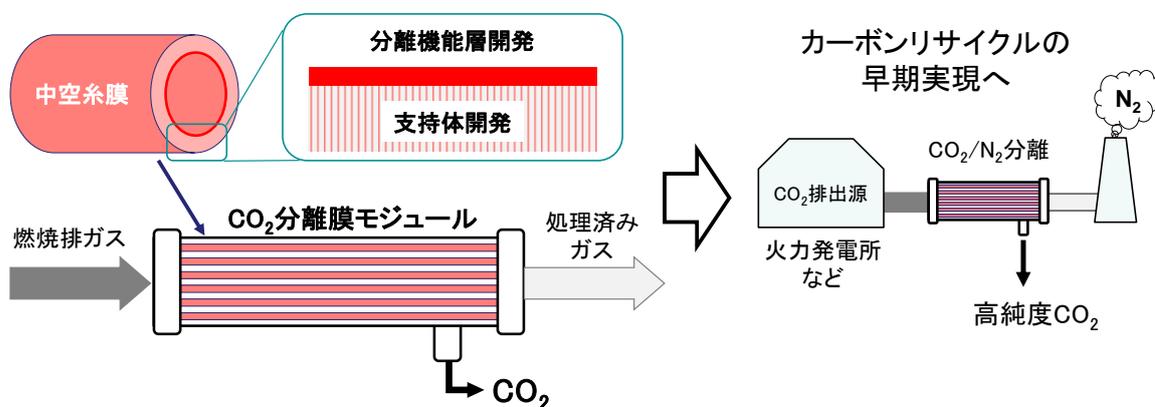
2022年3月29日
東ソー株式会社

「革新的CO₂分離膜モジュールによる効率的CO₂分離回収プロセスの研究開発」が
NEDO「CCUS 研究開発・実証関連事業／CO₂分離・回収技術の研究開発／二酸化炭素分離
膜システム実用化研究開発」プロジェクトに採択

東ソー株式会社、国立大学法人九州大学、国立大学法人東京工業大学、および再委託先として株式会社キッツマイクロフィルター等は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「CCUS 研究開発・実証関連事業／CO₂分離・回収技術の研究開発／二酸化炭素分離膜システム実用化研究開発」プロジェクトの公募に対し、「革新的CO₂分離膜モジュールによる効率的CO₂分離回収プロセスの研究開発」を共同で提案し、このほど採択されました。本事業の委託期間は2022年1月から2023年3月までです。

本事業は、火力発電・化学産業・セメント産業・鉄鋼産業等のCO₂濃度が10%を超える工程ガス・排気ガスを対象としたCO₂分離膜の技術開発を行うことを目的としています。

本研究開発では、2020年度に採択された「NEDO 先導研究プログラム／エネルギー・環境新技術先導研究プログラム／革新的CO₂分離膜による省エネルギーCO₂分離回収技術の研究開発」で東ソー株式会社と九州大学が開発を行った、高いCO₂選択性と高純度のCO₂を分離回収することが可能なアルカノールアミンを高分子マトリックスに担持した高分子中空糸膜で構成されるCO₂分離中空糸膜モジュールを用いて、火力発電所から発生する実排ガスを用いたCO₂分離・回収システムへ適用するために必要なCO₂分離膜の更なる性能向上とCO₂分離膜モジュールのスケールアップ検討を行います。



革新的CO₂分離膜モジュールによる効率的CO₂分離回収プロセスの確立



TOSOH

NEWS RELEASE

当社は、気候変動問題に関わる課題として、温室効果ガス（GHG）排出量削減への取り組みが事業の中長期的な成長に繋がると考えており、今後も引き続き、エネルギー使用の効率化、GHG排出量の削減、CO₂の分離回収・原料化による有効利用に向けた技術開発を推進していくことで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■お問い合わせ先

〒105-8623 東京都港区芝三丁目8番2号
東ソー株式会社 広報室 TEL 03-5427-5103

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2丁目12-1
東京工業大学 物質理工学院 応用化学系
小玉聡助教 skodama@chemeng.titech.ac.jp

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744
九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所（WPI-I²CNER）
国際科学連携ハブ 谷口育雄准教授 ikuot@i2cner.kyushu-u.ac.jp

東ソー株式会社 広報室

東京都港区芝3-8-2 〒105-8623
TEL 03(5427)5103 FAX 03(5427)5195
<http://www.tosoh.co.jp>